

だいじょうぶ。ともにあるこう。(2017. 1. 1)

三鷹市議会議員

野村 のむら ようこ 羊子



と いっしょにつくる三鷹の会 ニュース no.96

2017年、未来を見据え、歩み続けたい。

大きく時代が動き、歴史のカーブを回る今このときにあって、私たちは何ができるのだろうか。流れに抗うことはできないように見えても、方向を少しずらすことくらいはできるかもしれない。目指すものは〈自由・平等・人権〉そして〈平和〉。パリ協定はその可能性を見せてくれている。だから、あきらめずに、今年もみなさんといっしょに歩き続けていきたい。

野村羊子

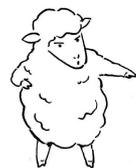
■12月議会(第4回定例会)

★太宰治文学館は必要か？

補正予算でいきなり提案。事前の報告等は一切なし。しかも、基本プランから実施設計まで一纏めにして3141万を、来年度に繰り越して使えるようでの提案。

都から井の頭公園内の土地を借り受け、500㎡の建物を3億弱で建設し、毎年の維持管理費は数千万とのこと。遺族からの遺品の寄贈があり、吉村昭氏の書斎も移築し保存。しかし、文学館建設が、今、三鷹市がやるべきことだろうか？

都から公園を借りられるなら、保育園建設が喫緊の課題ではないのか？市民に情報提供しつつ、検討する場を設け、拙速に進めない事を求める。



★市長・副市長・教育長(常勤特別職)と、議員の期末手当値上げに反対！

東京都人事委員会の職員の期末手当引き上げに連動して、2年続けて年間0.2ヶ月増額する。

職員は扶養手当・住宅手当の引き下げなどマイナスと抱き合わせ。議員・市長らは増額のみ。

★農業委員会、公選制から市長任命制へ。

農業委員会法の改正に伴う条例改正。独立した農業委員会を、関係団体の推薦が必要とはいえ市長の任命制にすることは、首長の権限強化に繋がり、健全な委員会運営が可能か疑問。小規模農業維持からも課題が多く、法改正に反対の立場から反対。

■指定管理者の指定

★学童保育所の指定。問題ありと反対。

- 2つの事業所に別の指定期間なのに抱き合わせの1本の議案にすることがまずは問題！
- 新設の高山Cと2つに分けた東台ABに中原ABは(福)三鷹市社会福祉協議会へ、3年間の指定。社会福祉協議会は職員待遇について、労使交渉の結果が反映されていないという課題があり問題。
- 新設の連雀は、(株)日本保育サービスに2年間。他自治体で残業代未払いの勧告があり、是正されたというが説明がない。職員の交代も頻繁で問題。



★市民協働センターの指定。直営が望ましい。

- 専従の事務局長以下正規職員は市からの派遣。NPO法人の副代表理事は担当部長の充て職。NP Oを通してではなく、直接市民と協働すべき。



★高齢者センターどんぐり山の指定管理。改善を評価し賛成。

- 利用率を高め、研修などを重ねているとの報告があり、経営改善努力が認められる。

★自然郷川上村の指定。妥当と賛成。

- 子どもたちが自然教室で使う施設。300人が一度に行ける施設は貴重と、施設存続を決定し、5年間の指定。今後毎年6千万かけて改修していく。
- 利用率向上が課題。体育館等の設備をアピールしツアーも実施。地元の川上村振興公社が受託。

■議員提案意見書

★野村提案「博多駅前陥没事故原因究明まで東京外郭環状道路工事の中止を求める意見書」：いのち・共産のみの賛成で**否決**。



★嶋崎提案「臨時・非常勤職員の待遇改善と雇用安定のための法改正に関する意見書」：自民のみ反対、賛成多数で**可決**。

★伊沢提案「地方自治権を侵害する環太平洋パートナーシップ協定（TPP）の批准の中止を求める意見書」：いのち・共産・民進賛成のみで**否決**。

🌐 財政研究会女性議員視察

★〈ひきこもり支援から生涯現役のまちづくり〉秋田県藤里町社会福祉協議会



ひきこもり・長期不就労者支援として、居場所づくり、中間就労としてのちょこっとサービス、まいたけキッシュ生産へと、町中を巻き込んでの事業となっていく様子を伺いました。担当の菊地さんから沢山のヒントと元気をいただきました。

★〈学力向上の取組み〉

・秋田県；家庭課題ノート、少人数数学級、探求型授業などなどの取組み。



熱心な担当者のお話を伺いました

・秋田市；教員の経験の継承のため、チームティーチングや、教科、校種を越えた研修を奨励。

三鷹でも鷹小研・鷹中研の取組は以前からあり、小中一貫カリキュラム作成のための研究会も継続。実践を元にした自由闊達な議論が重要だと改めて思いました。



■12/11、ごみにケーション報告会市民の声が届いた！横浜「除染残土埋めちゃう問題」。

「学校・保育園の放射能対策横浜の会」のお話。学校の雨水利用施設の基準値超え汚泥や、除染した土壌などが、そのまま学校や保育園に保管され続けていた。対策を求める保護者の声が、横浜市を動かした。放射能汚染問題は終わらないと実感。



■議員集中研修

◆保育園；猪熊弘子さん(保育ジャーナリスト)

「保育園落ちた・・・」で、待機児が個人の責任から、政治と社会の問題となった。しかし出てきた対策は規制緩和。それでは事故につながる。

企業主導型事業所内保育所は認可外で、自治体が監査・指導できない。新規事業者の参入は要件のみで認可。議員が見学してチェックすべき。

子どもの命を守るためにも「保育の質」が重要。「プロセスの質」＝保育の姿勢等。「構造（条件）の質」＝保育士の数や、面積要件等。



「労働環境の質」＝保育士の保育への参画や安定雇用等。3条件をバランスよく高める。

保育は、親が預ける権利ではなく、子どもがよりよく育つ権利の保障。「保育は子どもの権利の保障」が世界的潮流。命を守る、子どもの育ちと願いを支える、三鷹ルールをつくる。地域がいかに子どもへの愛情を持っているかを示すこと。思いを込めて語っていただいた。

◆地域包括ケア；和田敏明さん(ルーテル大学名誉教授)

「自助・共助・公助」とされているが、共助は保険関係と整理し、地域のちょっとした支え合いを「互助」とする。地域の互助を再構築することが必要。地域包括ケアの深化として厚労省が進める「我が事、丸ごと」地域共生。地域のことは「我が事」として地域住民で、行政・事業者は、専門性をもって「丸ごと」と整理された。

理想はいいが現場はどうなるか、予算の裏付けは？また混乱、切り捨てがないう見守りたい。



🌐 雑木林の今

市役所敷地内の雑木林の伐採事業。相撲場周辺は数本を残して伐採。け



やき他何本かは移植されることに。駐輪場側は通路部分を伐採。さらにアスファルトを敷いて駐輪場を雑木林内に造成。すっかり景色が変わった。

野村羊子といっしょにつくる三鷹の会news No.96

〒181-0013 東京都三鷹市下連雀3-30-12-104

Tel&Fax:0422-72-2425

E-mail : issyonokai@nomura-yoko.net

Url : <http://www.nomura-yoko.net>

Twitter : @hitujinomura

